

四国大学 地域教育 ガイドブック2018

Regional Education Guidebook 2018



Shikoku
University

四国大学の地域教育

四国大学では、平成26年度から実施している「教育改革プログラム2014」において、これからの社会を担い新しい時代を切り拓いて社会をリードする人材を育てるために、教育課程を改訂し、教育内容や教育方法などの改革を進めています。本学が進める教育改革の中で、これからの地域社会で地域創生を担う若い世代が身に付けることが必要なものを体系的に整理して、「四国大学地域教育プログラム」を作成しました。このプログラムでは、より多くの学びの成果を得るために、大学と地域社会の関係者が協力・協働して地域の課題を解決するための知識や技術を身に付けることも目指しています。これからの変化する時代を生き抜き、永く続く社会の担い手となることを、学生に期待しています。



全学共通科目

全学共通科目の教養科目群に地域教育分野を設定しています。これまでの5科目に加え、新たに1科目を新設しました。

地域教育に関する教育課程

(大学・短期大学部共通)

専門科目

学科・専攻の専門科目の中で、特に地域に関する内容を含んだ科目を地域志向型科目とし、それぞれの学科・専攻に2~3科目設けてあります。



自由科目

自由科目の中に、地域教育関連科目を設け、3科目を設けています。この科目を履修すると卒業単位として認められます。(看護学科を除く。)



地域教育プログラムの流れ

<p>1年生</p>	<p>全学共通科目(地域学)</p>	<p>消費者市民社会 新設</p> <hr style="border-top: 1px dashed #ccc;"/> <p>地域未来探求</p> <hr style="border-top: 1px dashed #ccc;"/> <p>徳島の歴史と文化</p> <hr style="border-top: 1px dashed #ccc;"/> <p>災害と防災</p>	 
<p>2年生</p>		<p>地域創生入門</p> <hr style="border-top: 1px dashed #ccc;"/> <p>四国いやしの道 ※短期大学部は1年生で開講します。</p>	<p style="text-align: center;">履修指導・支援 全学共通教育センター</p>
<p>3年生</p>	<p>専門科目(地域志向型)</p>	<p>学科・専攻の専門科目の中で 地域に関する内容を 含んでいる科目</p>	
<p>4年生</p>		<p>※学科によっては1年次から開講するものもあります。 (P17~20参照)</p>	

この地域教育プログラムは、地域教育分野の「全学共通科目」、学生の自主的活動を基にした「自由科目」、地域志向型の「専門科目」及び新「あわ学」への取り組みなどの「地域研究」で構成されており、それぞれの内容がつながりをもって新しい地域教育を目指した構成となっています。

自由科目（地域教育関連科目）

地域貢献・ボランティア活動Ⅰ



学生の自主的活動

地域貢献・ボランティア活動Ⅱ



地域貢献活動

ボランティア活動

地域企業等研究活動



地域企業等研究活動

活動支援

地域教育・連携センター

地域研究



新「あわ学」への取り組み

「大学的徳島ガイド」の刊行

「とくしま学データベース」の活用

「あわ検定」の実施



地域教育に
関する
授業科目

自由科目

自由科目に
地域教育関連科目を開設

自由科目として開設する「地域貢献・ボランティア活動Ⅰ」、「地域貢献・ボランティア活動Ⅱ」や「地域企業等研究活動」の3科目は、学内での講義や演習による授業ではなく、学生自らが在学中に学内外での社会に対する貢献活動、ボランティア活動や自らのキャリア形成、就職活動の準備に役立つ地域の企業等を研究する活動を行って、定められた時間数を積み上げることによって授業科目の学修として単位を認定するものです。この科目は、学生の自主的な活動と一体となったものですので、どのような活動が授業科目として評価の対象となるのか、活動時間の計算方法、また、活動後の単位認定までの手続きなどについては、11ページから記載されていますのでよくご覧ください。



自由科目の詳細は履修要項をご覧ください。また、不明なことは、チューターや地域教育・連携センターの窓口でお問い合わせください。

自由科目に設定されている地域教育関連科目

授業科目	単位数		単位の修得方法
	大学	短大	
地域貢献・ ボランティア活動Ⅰ	2	1	対象となる活動を60時間(短大30時間)分積み重ね、活動内容や結果をレポートなどで提出し、チューターの評価を受けて単位として認定されます。「活動Ⅰ」の時間が60時間(短大30時間)を超えると「活動Ⅱ」の時間としてカウントされます。
地域貢献・ ボランティア活動Ⅱ	2	1	
地域企業等研究活動	2	1	外部の企業などで60時間(短大30時間)の地域の企業等を研究する活動を行い、活動内容や結果をレポートなどで提出し、チューターの評価を受けて単位として認定されます。

この科目は、学年を問わず全学生が対象となります。

また、成績評価は、本学の学業成績評価規則を適用せず「認定」として評価されます。



地域教育活動の取り組みについて

大学と地域社会

近年、大きく変化する地域社会・経済・環境の中で、これからの時代に生きる若い世代には、大学内での授業や生活で自らを磨くだけでなく、地域社会において現実が生じている問題などを正しく受け止め、課題解決に向けた取り組みをすることが求められています。本学では、これまで学生に学内での授業だけではなく、広く学外にも目を向け、地域のフィールドに参加して実態を知る機会を得て、様々な体験をして、これからの大学での学修やキャリア形成に活かしていくことを求めてきました。平成29年4月から、地域教育を体系的に整え、学生が地域に関する知識や課題、またその解決法について学ぶとともに、学外でのフィールド活動にも積極的に参加していることを評価して、地域教育に関連する授業科目の単位として認定することになりました。

地域での学生の活動

これまで本学学生は学外で自主的に次のような地域貢献活動、ボランティア活動、地域企業等研究活動(以下「活動」という。)を行っています。



←
 具体の
 取り組みについては、
 QRコードをチェック!!

学部・学科・専攻単位で行っている活動	<ol style="list-style-type: none"> ① 学部・学科・専攻単位で行っている活動 ② 学部・学科・専攻の学生のサークル単位で行っている活動 	
全学として行っている活動	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域教育・連携センターがコーディネートして行っている活動 ② 学生ボランティア活動支援室がコーディネートして行っている活動 ③ キャリアセンターがコーディネートして行っている活動 ④ 学生の優れた取り組みに対する支援(学生支援GP)を受けて行っている活動 ⑤ 全学学生のクラブ・サークル単位として行っている活動 	
その他	その他学生の自主的な活動 <small>※事前に必ず地域教育・連携センターの窓口でご相談ください。</small>	

上表に示す地域貢献活動、ボランティア活動などが、地域教育関連科目の単位認定につながりますので積極的に活動に参加してください。上表に示す活動の具体の取り組み事例は、センター窓口またはQRコードから確認できますので参考にしてください。

「SUDAchi CARD」

1 地域教育・連携センターで
「SUDAchi CARD」を取得

カード発行



2 活動開始

- 地域貢献・ボランティア活動
- 地域企業等研究活動



3 活動時間に応じて押印取得
同時に「自己教育カシート」にも詳細を記入

活動1時間
につき1印

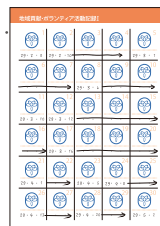


4 活動終了後、
地域教育・連携センターにて記録

活動履歴の記録

1/20	●●●●●●●●
1/30	●●●●●●●●
2/10	●●●●●●●●

単位の修得には押印×60個
(短大は30個)



5 報告書を作成

報告書を
チューターがCheck!

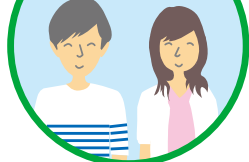
レポート・報告書



6 活動時間に応じて
単位の修得

教育支援課【単位認定処理】

単位の修得



と単位認定の流れ

1

「SUDAchI CARD」の取得

地域貢献活動、ボランティア活動、地域企業等研究活動を行う前に、地域教育・連携センターで活動開始前の登録をしてください。この登録が完了しますと「SUDAchI CARD」が交付されます。またセンターに学生個人の活動を記入する台帳が作成されます。



「SUDAchI CARD」とは

「SUDAchI CARD」は「地域貢献・ボランティア活動記録Ⅰ」、「地域貢献・ボランティア活動記録Ⅱ」及び「地域企業等研究活動記録」が綴られており、活動を行ったことを証明するためのスタンプ押印欄がそれぞれ60個あります。学生は「SUDAchI CARD」に氏名、学生番号、学部、学科、専攻名を記入してください。このカードは在学期間中使用しますので大切に扱ってください。

2・3

活動開始とスタンプの押印



活動に出かけるときは「SUDAchI CARD」を必ず持参してください。

活動が終了しますと、同行した本学教員からスタンプ押印欄に活動時間分の押印がされます。また、本学教員が同行せず学生だけで活動に出る場合は、活動前に地域教育・連携センターまで届け出をしてください。その際、「活動証明書」用紙を渡しますので、現地にいる活動責任者に記入してもらってください。活動終了日から1週間以内に証明書を地域教育・連携センターまで持ってくると、センターでスタンプの押印をします。カードの「地域貢献・ボランティア活動記録Ⅰ」の押印数が60（短期大学部の学生は30）を超えると「地域貢献・ボランティア活動記録Ⅱ」に押印してもらってください。

「自己教育カシート」への記入

「四国大学スタンダード自己教育カシート」の自分の課題に対する取り組み（ボランティアなど）欄に学生が活動の詳細を記入し、それをチューターが確認することになります。「自己教育カシート」の記入は、将来就職活動などで大学時代に取り組んできたことのアピールやエントリーシートの記入などで役立つこととなりますので必ず記入してください。

4

センターの台帳への登録

学生の活動時間数は、単位認定に必要となります。このため地域教育・連携センターの台帳に記録することになっていますので、センターにカードを持参して台帳に記録してもらってください。

5・6

報告書の作成と単位の認定手続

一定時間（大学は60時間、短期大学部は30時間）に到達すると活動に関するレポートまたは報告書などを作成し、チューターに提出して学生から説明をすることになります。チューターは、学生から提出されたものにより時間数を把握するとともにレポートなどで単位の認定に相当するかを判断し、評価をした場合は単位認定の処理について事務局（教育支援課）に報告することになります。不明な点や疑問に思われることは、センター窓口で相談・お問い合わせください。

活動時間の計算

社会貢献活動やボランティア活動は、県内のいろいろな地域からの要請や学生の自主的な取り組みとして活発に行われています。また、これまで災害ボランティア活動として県外での活動も行われています。これらの活動の取り組みについて、それに要した時間を適切に計測するため、活動時間や移動時間などについて次のような基準を設けています。

活動時間について

社会貢献活動やボランティア活動などの活動時間は、原則としてその活動を行うための集合時間から解散時間までの総時間とします。なお、30分以上の端数は切り上げて1時間として計算します。

移動時間について

活動地まではいろいろな移動手段が考えられますが、その移動時間は、大学を起点として活動場所まで1時間未満の場合は活動時間に含めないこととします。なお、1時間以上の場合は、その2分の1を活動時間に含めて計算します。活動終了後の大学までの移動についても同様とします。

休憩時間について

活動を行うには、まず、健康管理が大切です。このため、1回の活動時間のうち30分までの休憩時間は活動時間に含めることとします。これまで述べた活動時間や休憩時間はあくまで原則です。屋外での重労働や炎天下での作業など、活動内容や活動環境に応じて活動責任者が適切に判断することになります。

累積した活動時間の有効期間

学生が活動して累積した活動時間は在学期間中有効に扱われ、単位認定を受けることができます。

Q1 / 地域貢献活動やボランティア活動で活動時間が60時間に満たないと授業科目の単位認定を受けることはできないのですか。

Q
&
A

学外での活動は、学生の様々な体験を通して地域への貢献となり、さらには学生のキャリア形成に大変重要です。このため、大学では学外での活動を積極的に行うことを奨めてきていますが、今回これらの活動を授業科目に置き換えて単位を認定することにしました。この活動は、学外での実習科目に相当するとみなし、単位を認定するには、1単位につき最低30時間の活動が必要ですので2単位の科目の場合は、60時間の活動が必要となります。なお、短期大学の科目は各1単位ですので30時間で単位認定がされます。

学生の活動とチューターの役割

学生の社会貢献活動やボランティア活動により、地域教育関連科目の単位認定を受けるには、チューターが大切な役割を果たすことになります。まず、学生がいろいろな活動をして、それを「SUDAchi CARD」に活動時間を記録し、時々、チューターの意見を聞くこととなります。このことは、チューターが、個々の学生がどのようなことに興味をもって活動しているか理解し、チューターと学生とのコミュニケーションが深まります。

地域教育活動等優秀賞

本学では、学生が地域に出かけ、地域の実態を知り、体験して課題の解決に向けて活動することは大変意義深いと考えています。このため、これら学生の優れた取り組みを表彰する制度を設けることにしました。表彰は毎年実施し、推薦(自薦、他薦問わず)により応募された学生の内、特に優れた活動を行った学生には学長から表彰状と副賞を授与することとします。



Q & A

Q2 / 単位の認定を受けるときに、活動内容・結果をまとめたレポート又は報告書を作成することになっていますが、「自己教育力シート」にも記入が必要ですか。

学生の社会貢献活動やボランティア活動は、大学生活の中で意義の深いものです。単位の認定申請のためレポートなどを作成すると同時に「四国大学スタンダード自己教育力シート」に忘れずに記入してください。「自己教育力シート」は、これからの就職活動での具体的な説明材料にもなり、エントリーシートや履歴書にも記入して面接時の自己アピールにも活用できます。

SUDAchi CARD

SUDAchi
CARD
すだちカード

四国大学地域教育ガイドブック
Shikoku University Regional Education Guidebook

地域貢献・ボランティア活動記録I

1	2	3	4	5
29・2・3	29・2・10			29・3・1
6	7	8	9	10
11	12			15
16	17			20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	

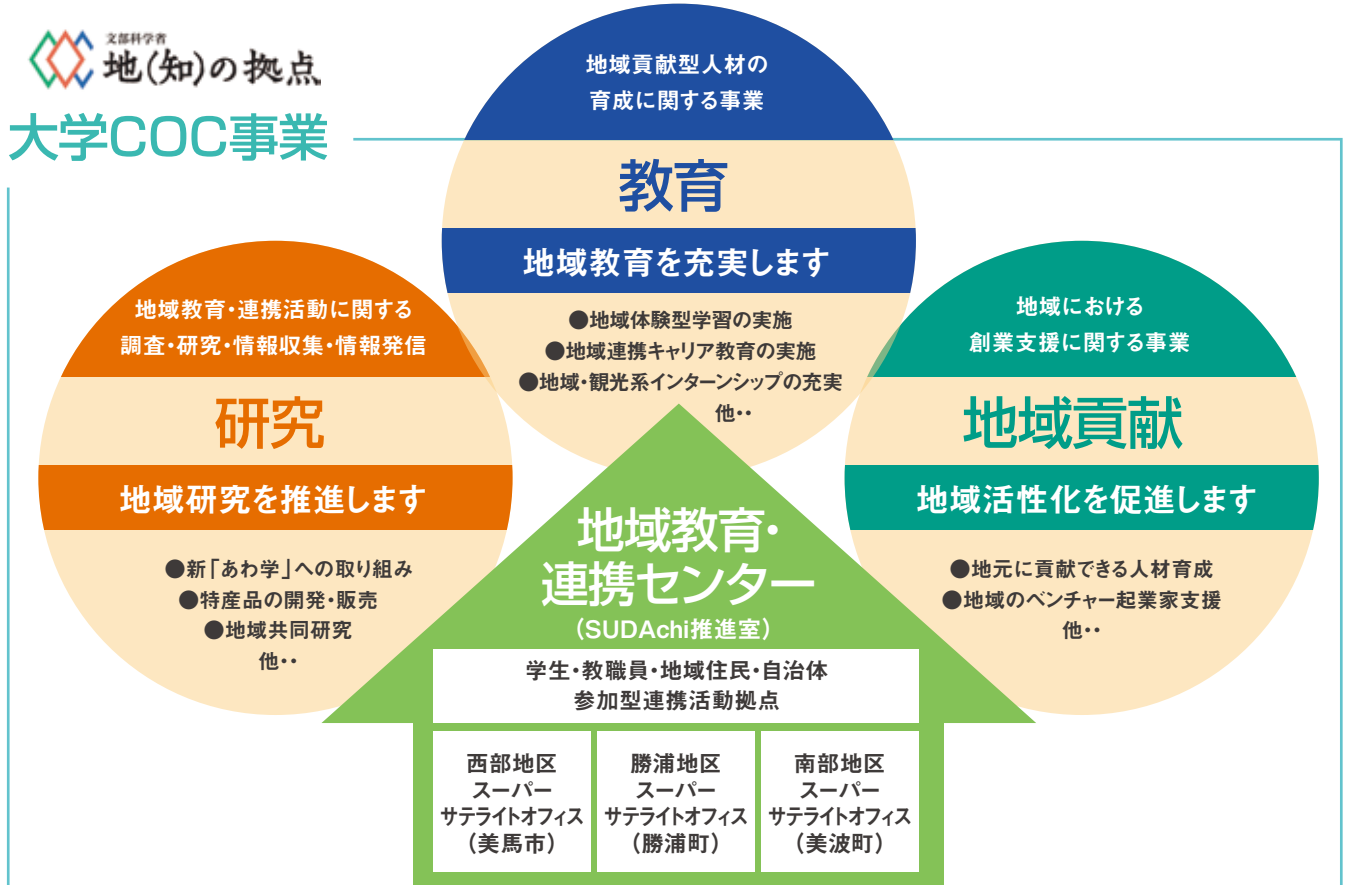
SUDAchi = Shikoku University Dream Achievement / 四国大学夢実現

全学的な推進組織の体制を整備し、地域課題の解決に向けたカリキュラムの充実を図り、特色ある“地域貢献型人材”を育成します。

地域教育・連携センターの紹介

場所の案内はP25～P26をご覧ください

本学の地域教育・連携センターは、本学での教育・研究の成果を、地域社会に還元し、地域の活性化に役立つ取り組みをするため平成26年10月に設置されました。センターにおける主な取り組みは、文部科学省からの補助金を得て“とくしまで学び、地域社会に貢献できる人材育成”をテーマとした大学COC(Center of Community)事業や、“地域課題を自らの創造力で解決するチャレンジ精神の育成”をテーマとしたCOC+事業を展開しています。その具体的な内容は次の図のとおりです。なお、これらの事業を徳島県の西部地区、南部地区及び勝浦地区でも展開できるようSSO(スーパーサテライトオフィス)を設置しています。



COC + 事業



大学COC (Center of Community) 事業とは?

大学と地域社会が連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める「地域のための大学」を支援することで、地域コミュニティの中核的存在としての大学づくりを目指すものです。



四国大学

.....
全学共通教育センター
地域教育・連携センター
<https://www.shikoku-u.ac.jp/>
.....